

養鰻池跡地はどうなるの？ 建設発生土の処分地 Q & A

住民への影響は？

低騒音・低振動型機械を使用し、防砂ネットや仮囲いを設置するなどして工事を進めます。

また池に起因するユスリカの発生も改善される見込みです。



大雨等による影響は？

既存の排水先である排水管と同等の流出量となるよう、調整池を新たに作ります。



イメージ

環境への配慮は？

排水系統を変えず、濁水を流さない等の対策を講じ、周辺環境や動植物への影響に配慮します。

また処分地が近隣になることで、運搬に係るトラックのCO₂排出量の削減にもつながります。



道路整備もするの？

処分地整備に伴い、周辺道路の拡幅のほか、住宅地側に幅6mの道路を新たに作ります。この道ができることで、住宅地から国道23号や河芸町島崎町線へも出やすくなります。



処分地の高さは？

三重県により整備中の堤防に合わせ、処分地の高さも6mとし、景観を保ちつつ津波対策も講じます。



市民のメリットは？

河川などの水底に溜まった土砂等を撤去することで、大雨等に伴う河川氾濫を抑制することができます。また、公共事業の建設発生土を処分地で受け入れることで、更なる事業推進を図ることができます。



養鰻池跡地

所在…河芸町上野 面積…70,698㎡

受け入れ期間・事業費は？

51.5万㎡を、約6年間かけて埋め立てます。受け入れ手数料として1㎡当たり2,000円を徴収することで、処分地の管理・運営などに係る総事業費9億9,000万円を手数料で賄うことができます。

埋め立て後はどうなるの？

建設発生土の受け入れ終了後、カーボンニュートラルを踏まえ太陽光発電などの自然エネルギーを利用した施設としての活用を検討していきます。



- ✓ 公共事業の残土処分地不足を解消
- ✓ 津市全体の公共事業の促進と流域治水に寄与
- ✓ 実質コストゼロで処分地の管理・運営費が賄える